

ガラス表面応力計

model: FSM-6000X

本体標準価格 可視光タイプ ¥2,500,000

強化ガラスの表面応力測定装置

本製品は、ガラスの表面に沿って光を伝搬させ、光弾性技術により表面の応力やその深さを測定するものです。

特に、化学強化ガラスの測定は本製品が唯一の表面応力測定装置です。

また、測定者による誤差が少なく、製品の開発や管理等に優れた機能を発揮します。



・プリズム形状が変わり、浸液による汚損の影響を受け難くなりました。

・調光方式が光学フィルター式から電気式に変わりました。

特徴

- 非破壊測定
- 自動測定により測定者の個人差がない
- PCにデータ保存される為品質管理が容易
- 校正用標準器の使用で機差は最小限
- 測定結果の外部出力が可能
- 断面応力分布がグラフ表示される
- OK/NGの判定機能付き(標準装備)

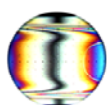
オプション

- ガラス板厚の自動測定(厚み測定機能)
- 視野のワイド化(広視野測定機能)
- 浸液供給装置 オートディスペンサー
- ワンタッチスイッチ(OK/NG判定機能時)
別売装置が必要です(別途カタログをご覧ください)

仕様

タイプ	UV	可視光	IR
光源	LED 365±10 nm	LED 596±10 nm	LED 790±10 nm
測定範囲CS	0-1000 MPa	0-1000 MPa	0-1000 MPa
測定範囲DOL	5-50um	10-100 um	10-200 um
測定精度	CS ±20MPa, DOL ±5um		
測定対象	化学強化ガラス、物理強化ガラス		
サンプル形状	平面 10×10 mm以上		
PC	専用(OS、測定ソフト インストール済み)		
OS	Windows 10 64 bit		
ソフトウェア	FsmX		
重量	14kg(本体)、6kg(PC)、3kg(モニター)		
寸法	280*600*220mm(本体)、290*93*292mm(PC)、512*180*397(モニター)		

*旧ソフトをお持ちで最新ソフトへのアップグレードをご希望の方は、直接ご相談下さい



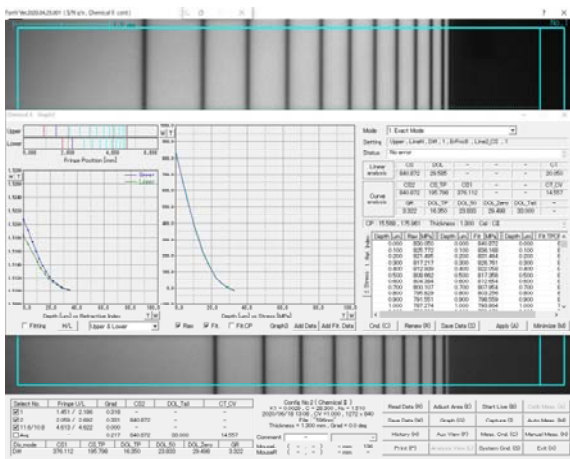
ORIHARA
INDUSTRIAL CO., LTD

測定波長

可視 (596nm)

特徴：
標準的なタイプ。D線に近い波長であり、硝材の屈折率、光弾性定数の情報が得やすい。

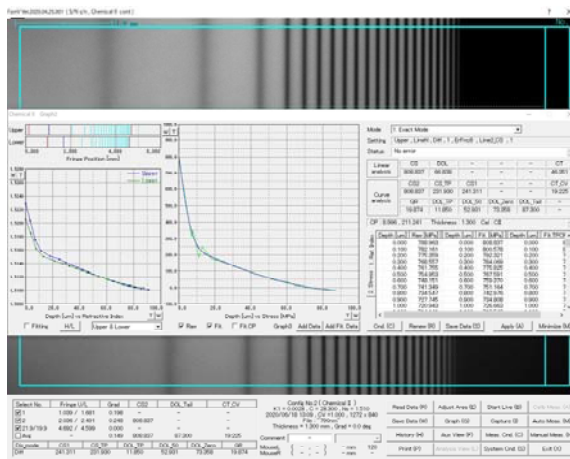
測定例：
化学強化ガラス (KNO3の1回強化)



IR (790nm)

特徴：
検出される縞本数が少ない。縞がたくさん検出され過ぎて、正確に読み取ることが難しい場合に有効。

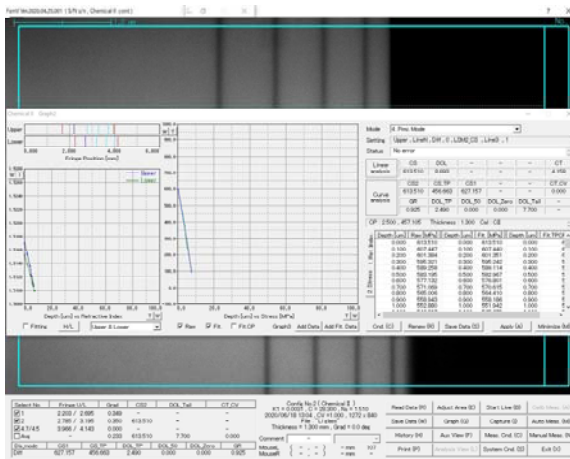
測定例：
化学強化ガラス (KNO3の2回強化)



UV (365nm)

特徴：
可視光に対して、縞本数が1.5倍ほど増える。縞本数が少な過ぎて上手く測定できない場合に有効。

測定対象：
化学強化ガラス (NaNO3+KNO3の2回強化) (表層のみ)



DUAL

可視 + IR

可視 + UV